

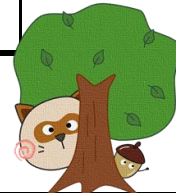
# カリキュラム一覧



## 専門分野別研修 ①乳児保育

\* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。

No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	乳児保育の意義と発達に応じた保育内容	目の前の子どもの姿を見ながら、少し先のことを思い浮かべ、育ちを支援していくためには子どもの発達の道筋を理解することが大切です。子ども自らの育ちを尊重し、自我のめばえを大切に乳児期の保育について学びましょう。	長瀬美子 大阪大谷大学	6月17日(木) 13:30-18:00	大阪府社会 福祉会館401 (4階)
2	子どもの自己肯定感を育む乳児保育	保育指針で3歳未満児の子どもが非常に重要視される中、育ちを担う保育者の役割は益々大切になってきています。子どもの行動に込められた本当の願いや要求をつかみ、乳児期の愛着形成や自己肯定感の育ちを子どもの視点に立って学びましょう。	今井和子 元立教女学院 短期大学	7月6日(火) 13:30-18:00	エル・おおさか 南1023 (南館10階)
3	主体性と意欲を育てる乳児保育とは	家庭での養育が益々大変になる中、就学前に人への愛着・信頼を育むことが保育の重要課題になっています。0・1・2歳それぞれの子どもに育ててほしい力とは何でしょうか。そのために乳児期に大切にしたいことを育児担当保育の実践から学びましょう。	樋口正春 保育創造セミナー	9月6日(月) 13:30-18:00	大阪府社会 福祉会館401 (4階)
4	乳児保育の実践と記録	子どもの育ちを丁寧に捉え、実態や育ちを理解する中で保育課題が明確になってきます。園ではどのような子ども像をあげられているでしょうか。子ども主体の乳児保育を実践するためのねらいや生活、遊びの内容、記録、評価など、保育の質を高める指導計画について、事例やワークを通して学びましょう。	瀧 薫 城東よつば こども園	11月15日(月) 13:30-18:00	



## 専門分野別研修 ②障害児保育

\* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。

No.	テーマ	内容	講師名	日時	会場
1	仲間と共に育ちあう保育・教育とは	子ども一人ひとりの違いを受けとめ、障害のある子と共に育つ保育・教育を実現していくには、保育者はどのように子どもを理解し、関わればよいのでしょうか。共に育ちあうための実践報告やワークを通して学びましょう。	棚田純子 ちやいんどネット 大阪 実践報告者	6月18日(金) 14:15-16:45	たかつガーデン たかつ東中 (8階)
2	一人ひとりの障害を理解し、適切な支援を学ぶ① ～困っている 子どもへの支援～	子どもが何に困っているのかに気づくことが、支援の第一歩だといわれています。安心できる環境・関わり・生活を整えるために観察方法、支援計画、支援方法などを学びましょう。	伊丹昌一 梅花女子大学	7月15日(木) 14:15-16:45	大阪市立住まい 情報センター ホール(3階)
3	一人ひとりの障害を理解し、適切な支援を学ぶ② ～保護者や家族に対する 理解と支援～	社会性やコミュニケーション、こだわりなど、それぞれの支援のポイントについて学び、一人ひとりに必要な環境、遊び、生活の具体的な手立てを通して自尊感情を育む支援計画の立案を演習を通して学びましょう。	伊丹昌一 梅花女子大学	8月18日(水) 13:30-18:00	大阪府社会 福祉会館401 (4階)
4	保育者が対応に迷う子どもたちと保護者への対応を「注意力」「感受性」「身体リズム」で整理する	発達障害、もしくはそう思われる子どもたちの行動を「注意力」「感受性」「身体リズム」の3点のみで整理し、保育者が対応に迷ったとき、理解と対応を思いつく方法を学びます。さらに、皆さんの質問にお答えいただきます。おひとりの悩みは誰もがもつものです。答えを共有して気持ちを楽に、子どもたちの思いをひろっていきましょう。	野藤弘幸 クローバー 自立支援センター しまもと	9月30日(木) 13:30-18:00	
5	発達障害のある子ども・保護者への支援と保育者の関わり	発達障害と思われる子どもたちは園において何に困り、どのような支援を必要としているかなど、具体的なお話から子どもや保護者を支える保育者の関わりや役割について学びましょう。	鶴 宏史 武庫川女子大学	12月13日(月) 14:15-16:45	